



かぜ診療での抗菌薬の適正使用、患者さんへの説明などわかりやすく解説

AMR対策臨床セミナー in 東京 「かぜ診療ブラッシュアップコース」 12月8日(土)開催

今年も風邪やインフルエンザの流行シーズンがやってきます。かぜをひいて診療に訪れた患者さんの中には、“抗菌薬がかぜに効く”という先入観から、医師に抗菌薬を求める人も少なくありません。そして医師にとっても、抗菌薬を求める人に、かぜには効かないことを納得していただくための言葉のテクニックが必要です。

最も日常的な疾患であるかぜ診療での抗菌薬の適正使用は、AMR対策の重要な柱のひとつとなっています。今回のセミナーは、かぜの診療を抗菌薬の適正使用の観点から見直す「かぜ診療ブラッシュアップコース」です。感染症は専門ではないが、外来で感染症を診療する機会が多い医師を対象に、かぜ診断の際のポイント、見逃してはならない病気の見分け方、患者さんへの説明の仕方など、ロールプレイを交えながら、かぜ診療とその周辺について詳しく学べるセミナーです。

つきましては、本セミナーを報道関係者の皆さまにもご取材を賜りたく、ご多忙とは存じますが、ご来場を賜りますようお願い申し上げます。

※AMR(Antimicrobial resistance)とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなることです。

講演プログラム

<第一部> 15:00～15:30 「**薬剤耐性(AMR)の現状**」

講師：藤友 結実子 ふじとも ゆみこ 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター

<第二部> 15:30～18:00 「**急性気道感染症の診断・薬物治療・効果的な説明**」

※かぜ診療のロールプレイを実施

講師：黒田 浩一 くろだ こういち 医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院 感染症科

講師：山本 舜悟 やまもと しゅんご 京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター 臨床研究教育・研修部

実施概要

日時：2018年12月8日(土) 15:00～18:00 (開場14:30)

会場：TKPガーデンシティPREMIUM京橋 ホール22D
東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン 22F TEL 03-3516-3602

定員：60名

主催：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター
東京都新宿区戸山1-21-1 TEL 03-6228-0062

後援：公益社団法人 東京都医師会

